

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 第一三共株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄田 隆

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 斎 寿明

TEL 03-6225-1126

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	725,662	15.6	90,061	△8.2	90,643	△2.7	39,244	—
21年3月期第3四半期	627,620	—	98,053	—	93,184	—	△297,830	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	55.75	55.72
21年3月期第3四半期	△419.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,433,661	877,162	59.4	1,209.27
21年3月期	1,494,599	888,617	57.7	1,226.04

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 851,240百万円 21年3月期 863,050百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
22年3月期	—	30.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	960,000	14.0	96,000	8.0	100,000	81.3	45,000	—	63.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	709,011,343株	21年3月期	709,011,343株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	5,081,106株	21年3月期	5,074,868株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	703,933,725株	21年3月期第3四半期	709,807,999株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

2009年4月1日から12月31日までの当第3四半期累計売上高は7,256億円（前年同期比15.6%増）となりました。

前年同期間に比べ円高傾向で推移したものの、2008年11月に子会社化したランバクシー・ラボラトリーズLtd.（以下「ランバクシー社」）の売上高1,021億円の寄与により増収となりました。

利益面では、研究開発投資の拡大などにより、営業利益は900億円（前年同期比8.2%減）、経常利益は906億円（前年同期比2.7%減）となりました。また、試験研究費税額控除の不適用及び過年度の法人税等の修正などにより、四半期純利益は392億円（前年同期純損失2,978億円）となりました。

[所在地別セグメント]

①日本

日本の売上高は、4,102億円（前年同期比1.6%減）となりました。

国内医療用医薬品では、高血圧症治療剤オルメテック、消炎鎮痛剤ロキソニンブランドなどの伸長が寄与し、売上高は3,339億円（前年同期比1.8%増）となりました。

また、海外ライセンシーへの輸出及びロイヤリティ収入では、円高の影響や合成抗菌剤レボフロキサシンのライセンシーの在庫調整に伴う輸出の減少などにより、売上高は380億円（前年同期比20.6%減）となりました。

ヘルスケア品では、改正薬事法施行によりOTC市場において一時的な混乱が見られる中、ガスター10など第1類医薬品の売上減少などにより売上高は350億円（前年同期比5.6%減）となりました。

②北米

北米の売上高は、円高傾向に伴う為替の影響があったものの、高血圧症治療剤ベニカー、エイゾール、高コレステロール血症／2型糖尿病治療剤ウェルコールなどが現地通貨ベースで引き続き伸長していることに加え、ランバクシー社の売上寄与もあり、1,618億円（前年同期比14.1%増）となりました。

③欧州

欧州の売上高は、ランバクシー社の売上寄与や、高血圧症治療剤オルメテック、セビカーの伸長などにより、717億円（前年同期比38.9%増）となりました。

④インド

インドの売上高は、ランバクシー社の売上げなどにより、448億円となりました。

⑤その他の地域

その他の地域の売上高は、ランバクシー社の売上寄与などにより、369億円（前年同期比118.3%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における純資産は8,771億円（前期末比114億円減少）、総資産は1兆4,336億円（前期末比609億円減少）、自己資本比率は59.4%（前期末57.7%）となりました。

純資産の減少は、四半期純利益を計上した一方、前期末及び当第2四半期末に係る配当金の支払いを実施したことによるものであります。

総資産については、純資産の減少に加え、長期安定的な資金調達へのシフトを目的とした、社債の発行や長期借入金への借り換えと同時に有利子負債の削減に努めたこと、また、繰延税金資産を取り崩し法人税等を計上したことなどから前期末から減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

2009年10月30日に公表しました2010年3月期連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

〔通期〕

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	960,000	96,000	69,000	40,000	56.82
今回修正予想 (B)	960,000	96,000	100,000	45,000	63.93
増減額 (B-A)	0	0	31,000	5,000	—
増減率 (%)	0.0	0.0	44.9	12.5	—
(ご参考) 前期実績 (2009年3月期)	842,147	88,870	55,168	△215,499	△304.22

(修正の理由)

薬価改定を控えた不透明な国内市場動向、為替相場における円高の進行など厳しい収益環境にあるものの、海外子会社の売上げ及び収益寄与が見込まれることから、売上高及び営業利益につきましては、前回発表予想からの変更はありません。

営業外損益では、ランバクシー社におけるデリバティブ評価損益に関し、従来は同社の第1四半期（2009年1月から3月）で生じた評価損を通期予想においても据え置いておりましたが、同社決算期末である2009年12月末の為替相場に基づいて計算した結果、インドルピーの対米ドルレートの変動に伴い、評価損から評価益に転じる見込みとなりましたので、その他の要因も加味し、経常利益及び当期純利益の予想を上方修正いたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

ただし、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,535	76,551
受取手形及び売掛金	230,529	195,512
有価証券	208,053	235,475
商品及び製品	93,472	93,502
仕掛品	15,369	14,496
原材料及び貯蔵品	33,494	31,477
繰延税金資産	57,795	76,747
その他	41,129	60,761
貸倒引当金	△1,140	△1,018
流動資産合計	757,239	783,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	128,613	132,732
機械装置及び運搬具（純額）	44,496	46,038
土地	42,528	42,358
建設仮勘定	19,412	13,315
その他（純額）	13,958	15,669
有形固定資産合計	249,009	250,113
無形固定資産		
のれん	85,536	77,380
その他	103,814	115,180
無形固定資産合計	189,350	192,560
投資その他の資産		
投資有価証券	140,232	153,727
長期貸付金	188	614
前払年金費用	4,740	6,920
繰延税金資産	76,960	91,600
その他	16,244	15,864
貸倒引当金	△304	△309
投資その他の資産合計	238,062	268,418
固定資産合計	676,422	711,093
資産合計	1,433,661	1,494,599

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,376	59,419
短期借入金	19,435	264,345
未払法人税等	4,442	8,243
返品調整引当金	794	589
売上割戻引当金	1,976	2,666
その他	163,014	173,271
流動負債合計	253,039	508,535
固定負債		
社債	100,000	—
転換社債型新株予約権付社債	47,646	47,082
長期借入金	120,871	15,852
繰延税金負債	5,329	5,427
退職給付引当金	11,536	10,589
役員退職慰労引当金	166	177
環境対策引当金	—	92
その他	17,909	18,224
固定負債合計	303,458	97,447
負債合計	556,498	605,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,194	105,194
利益剰余金	743,785	753,820
自己株式	△14,560	△14,555
株主資本合計	884,419	894,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,377	19,882
繰延ヘッジ損益	983	76
為替換算調整勘定	△58,538	△51,367
評価・換算差額等合計	△33,178	△31,408
新株予約権	3,039	2,390
少数株主持分	22,882	23,175
純資産合計	877,162	888,617
負債純資産合計	1,433,661	1,494,599

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	627,620	725,662
売上原価	150,783	212,663
売上総利益	476,837	512,998
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	79,728	78,183
給料手当及び賞与	68,225	82,429
退職給付費用	5,007	8,036
研究開発費	129,162	141,703
その他	96,660	112,583
販売費及び一般管理費合計	378,783	422,937
営業利益	98,053	90,061
営業外収益		
受取利息	4,225	3,382
受取配当金	3,005	2,355
デリバティブ評価益	—	10,461
その他	1,926	2,880
営業外収益合計	9,158	19,080
営業外費用		
支払利息	403	4,686
為替差損	6,697	10,715
持分法による投資損失	270	119
デリバティブ評価損	3,175	—
その他	3,481	2,976
営業外費用合計	14,027	18,498
経常利益	93,184	90,643
特別利益		
固定資産売却益	1,227	1,923
投資有価証券売却益	0	1,844
関係会社株式売却益	—	77
持分変動利益	—	1
関係会社清算益	1,430	—
貸倒引当金戻入額	6	—
特別利益合計	2,663	3,847
特別損失		
固定資産処分損	2,142	734
事業再編損	—	1,783
環境対策費	—	622
固定資産臨時償却費	1,340	258
減損損失	2,201	123
のれん償却額	354,015	—
投資有価証券評価損	949	—
偶発損失引当金繰入額	420	—
環境対策引当金繰入額	196	—
関係会社株式売却損	15	—
特別損失合計	361,282	3,522

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 (△)	△265,434	90,967
法人税等	32,395	52,766
少数株主損失 (△)	—	△1,043
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△297,830	39,244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△265,434	90,967
減価償却費	28,398	33,765
減損損失	2,201	123
固定資産臨時償却費	1,340	258
のれん償却額	364,559	6,606
デリバティブ評価損益(△は益)	—	△10,461
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△69	130
退職給付引当金の増減額(△は減少)	483	379
前払年金費用の増減額(△は増加)	990	2,180
受取利息及び受取配当金	△7,231	△5,737
支払利息	403	4,686
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,844
固定資産売却損益(△は益)	915	△1,189
持分法による投資損益(△は益)	270	119
売上債権の増減額(△は増加)	△40,024	△35,223
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,092	△3,985
仕入債務の増減額(△は減少)	4,409	3,974
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△16,148	△7,250
その他	△1,631	25,474
小計	71,340	102,975
利息及び配当金の受取額	7,595	6,753
利息の支払額	△343	△3,549
法人税等の支払額	△51,521	△25,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,071	80,765
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,064	△19,753
定期預金の払戻による収入	2,758	30,618
有価証券の取得による支出	△101,437	△26,100
有価証券の売却による収入	140,960	115,967
有形固定資産の取得による支出	△12,337	△19,825
有形固定資産の売却による収入	1,853	1,295
無形固定資産の取得による支出	△19,722	△1,138
投資有価証券の取得による支出	△11,017	△6,881
投資有価証券の売却による収入	7	6,391
子会社株式の取得による支出	—	△1,498
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△408,411	△16,335
貸付けによる支出	△303	△470
貸付金の回収による収入	731	189
その他	14,151	372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395,831	62,829

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	239,941	△246,430
長期借入れによる収入	—	111,231
長期借入金の返済による支出	—	△4,271
社債の発行による収入	—	99,688
自己株式の取得による支出	△45,834	△21
自己株式の売却による収入	26	5
配当金の支払額	△53,330	△49,295
その他	△13	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	140,789	△89,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,702	726
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△238,673	55,063
現金及び現金同等物の期首残高	444,334	177,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	205,660	232,833

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「医薬品事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「医薬品事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	417,070	141,898	51,663	16,988	627,620	—	627,620
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	40,652	36,385	16,343	593	93,974	(93,974)	—
計	457,722	178,283	68,007	17,581	721,594	(93,974)	627,620
営業利益又は営業損失(△)	52,207	39,369	1,777	△2,352	91,002	7,051	98,053

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	インド (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	410,248	161,836	71,759	44,822	36,996	725,662	—	725,662
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	48,924	33,707	27,031	20,158	1,553	131,376	(131,376)	—
計	459,172	195,544	98,791	64,980	38,549	857,038	(131,376)	725,662
営業利益又は営業損失 (△)	50,346	39,383	6,167	△1,806	3,534	97,625	(7,564)	90,061

(注) 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の各区分に属する国又は地域

北米 …… 米国、カナダ

欧州 …… ドイツ、英国、フランス、スペイン、イタリア、ルーマニア等

インド …… インド

その他 …… 中国、台湾、ブラジル等

3. 国又は地域の区分の方法の変更

国又は地域の区分の方法については、従来、「日本」「北米」「欧州」「その他」の4区分としておりましたが、「その他」地域に含めて表示しておりました「インド」地域の事業規模が拡大し重要性が増加していることから、事業活動をより適切に表現するため、第1四半期連結会計期間より「インド」地域を「その他」地域から区分掲記しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「その他」地域の売上高は64,175百万円（うち外部顧客に対する売上高は44,822百万円）減少し、営業利益は2,611百万円増加しております。

なお、「日本」「北米」「欧州」に与える影響額は、ありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	164,696	67,642	26,190	258,530
II 連結売上高（百万円）				627,620
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	26.2	10.8	4.2	41.2

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	180,322	86,068	86,762	353,153
II 連結売上高（百万円）				725,662
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	24.8	11.9	12.0	48.7

(注) 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北米 …… 米国、カナダ

欧州 …… ドイツ、英国、フランス、スペイン、イタリア、ルーマニア等

その他 …… アジア、中近東、中南米等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。